

日本機械学会標準事業貢献賞

(JSME Codes and Standards Award for Distinguished Contribution)

●受賞案内(2017年度)

標準化事業の推進，発展を奨励することを目的として，日本機械学会の基準〔規準・規格・指針類〕，国際標準(ISO)原案，日本工業規格(JIS)原案等の作成，または普及活動における顕著な貢献および国際貢献に対する顕彰制度を日本機械学会標準事業部会(現：標準・規格センター)にて制定し，その第14回目の受賞者が下記の通り決定いたしました。2018年3月27日(火)の代表会員会にて執り行われた表彰式において日本機械学会標準事業表彰(貢献賞・国際功績賞)を贈呈し，その榮譽を称えております。

【貢献賞】

西岡 靖之 (法政大学 デザイン工学部 システムデザイン学科・教授)

●業績名

生産計画・スケジューリングに関する情報記述の標準仕様の策定およびその国際標準化

●受賞理由

製造業のIT化が加速し，生産計画やスケジューリングの重要性を増すなか，異なる業務ソフトウェアが業務データを共通解釈するための手段を提供するXMLベースプラットフォーム(略称PSLX)の開発・普及において中心的役割を果たすとともに，関連するIEC/ISO規格の策定にも我が国代表として参画し，PSLXの国際化などにも大きく貢献した。

●国際標準作成実績

ISO 原案作成

IEC/ISO 62264-3:2007

IEC/ISO 62264-5:2011

●委員歴

国際委員

2004年度～2017年度：IEC 65E JWG15 国際エキスパート

国内委員

2004年度～2017年度：FA 国際標準化委員会 委員

2004年度～2017年度：IEC 65E JWG15 国内対策委員主査

2015年度～2017年度：IEC 65 諮問委員会 委員

●普及関係業績

西岡靖之，インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ～日本機械学会の研究分科会からのイノベーション，日本機械学会誌，Vol.120, No.1181, (2017)

西岡靖之，IoTが変える新たなIEの時代～ものづくりを中核とした第4次産業革命のこれから～，IEレビュー，Vol.294, (2016) pp.6-11

西岡靖之，「つながる工場」のためのつながる仕組み，精密工学会誌，Vol.83, No.1 (2017) pp.19-20

西岡靖之，ものづくりバリューチェーンの参照アーキテクチャー(2016) <https://iv-i.org/wp/download/>